

KANSAI Univ. News

2010年
12月15日
第390号

関西大学通信

The first issue was published on June 19, 1969 and renewed on October 1, 2009.

■Student Support

エクステンション・リードセンターを活用しよう!

■学生広報スタッフ企画

2010年 関大の重大ニュース



「大学トップマネジメントフォーラム2010」に楠見学長が出席

11月14日、朝日新聞社主催のもと標記フォーラムが東京で開催された。本年は「大学からのマニフェスト～混沌の時代、トップ自らが語る大学の魅力とは～」をテーマに大学通信の安田賢治氏をモデレーターとして迎え、早稲田大学、明治大学、青山学院大学、法政大学など、8大学の学長・総長によるパネルディスカッションなどが行われた。

唯一、首都圏以外の大学として出席した

楠見晴重学長は、「関西は日本文化の発祥地であり、関西大学の大きな資源となっている」と意見を述べた。また、本学の学是である「学の実化」を具現化する大阪の地に根付いた教育プログラムとして天神橋筋商店街等の連携を紹介し、大学の国際化、グローバル化について、本学の充実した留学プログラムと「ハブ大学」化構想を紹介した。本フォーラムの内容は、12月9日の朝日新聞朝刊にまとめられている。(学長課)

11月27日、読売テレビ放送報道番組「ウェークアップ! びらす」が「水」をテーマに本学でシンポジウムを開催した。

このシンポジウムは、「21世紀水が危ない!? 知られざる水の真実～その時日本は生き残れるのか～」をテーマに開催されたもので、京都の地下水とそれをもとに作られた産業や文化、そして水にまつわる世界的な課題や、ウォータービジネスと紛争、水資源をめぐる環境問題などをテーマとしてディスカッションが行われた。

楠見晴重学長も基調講演およびパネルディスカッションに登壇し、「世界の人口増加により、21世紀は水不足が世界各地で深刻になっ

ている。日本は水の問題に真剣に取り組め、何ができるのかを考えなければならない時代が来ている」と日本が果たす役割について参加者にメッセージを伝えた。

当日の様子は読売テレビで報道され、会場では終了後にシンポジウムの様子が号外として配布されたほか、本学と月桂冠の共同企画で誕生したミネラルウォーター「自然の秀麗」が参加者に紹介された。



ハイチ地震被災者全国一斉支援募金活動にMusterPeaceが参加

12月18日(土)・19日(日)の2日間、大阪梅田・阪急百貨店南西側およびJR大阪駅前交差点周辺においてハイチ地震被災者を支援するNPO法人Habitat for Humanity Japanが実施する全国一斉支援募金活動に、関西大学国際ボランティアサークル「MusterPeace(マスターピース)代表:北村雄生さん(商学部2年次生)」のメンバー約20人が参加する。

MusterPeaceは本学の学生約60人が在籍している国際ボランティアサークルで、国際NGO団体Habitat for Humanity(以下HFHという)の日本学生支部として、貧困住居問題を切り口に活動をしている団体である。

今回、MusterPeaceはHFHのハイチ地震被災者支援の一つとして簡易シェルター建築のための資金を集める今回の企画の主旨に深く賛同し、募金を通じて被災者を支援する。代表の北村さんは「ハイチ地震は人びとの関心が薄れつ

つありますが、今でも支援を必要としています。当日、募金会場で私たちの活動を見かけ、企画の主旨に賛同いただける方には、ぜひ募金をよろしく願っています。」と呼びかけている。

当日はMusterPeaceのほか、同志社大学・立命館大学などの学生で組織する他の日本学生支部12団体も京都や西宮など主要都市で街頭募金を行うとともに、この企画主旨に賛同する多くの人からの募金を呼びかける。支援に関する内容などについては、HFHのウェブサイト(<http://www.habitatjp.org/>)を参照のこと。



MusterPeaceによる募金活動の様子

文化・学術活動等奨励金制度【業績部門】募集について

この制度は、課外活動や自主活動において優れた業績をあげた学生に対し、奨励金で支援するものである。次の応募要領に沿ってぜひ応募してほしい。

応募要領

【応募資格】 本学の学生のうち、文化、学術、福祉、ボランティア活動等の分野において、優れた業績をあげた個人または団体

【応募方法】 所定の「業績報告書」を窓口へ提出する

【応募締切】 1月11日(火)

【対象期間】 2010年1月1日～12月31日の間に実施した活動の業績

【奨励金】 団体は業績に応じ決定。個人は20万円が上限

【選考予定】 1月中旬に書類審査と面接を実施し、2月上旬に決定

問合せ窓口: 学生生活支援グループ(千里山)、高槻キャンパスオフィス(高槻)、ミューズオフィス(高槻ミューズ)、教務・学生オフィス(堺)
(学生生活支援グループ)

雪であそぼう!

白馬柵池高原ロッジ

何といても、ゲレンデまで徒歩1分の絶好のロケーションにあり、スキー・スノーボードなどを、楽しむことができる。

心地よい運動のあとは、近隣の温泉施設で冷えた身体を温め、セミナーハウスでは、味・ボリューム共に満点の食事を楽しんでもらいたい。



六甲山荘

四季の移り変わりや天候の変化に応じた六甲山の自然を堪能することができる六甲山荘。近隣のガーデンテラスには、その眺望を全身で感じる試みがなされた体感型の展望台「六甲枝垂れ」が、新たにオープンした。

また、緩やかな傾斜のゲレンデはファミリーやビギナーに人気があり、スキーやスノーボードを楽しんだあとは、おいしい神戸牛のすき焼きを囲みながら親睦を深めるのも良い。



(教育後援会)

【申込場所・時間】 千里山キャンパス…教育後援会(問い合わせ先 電話:06-6368-0055)

高槻キャンパス・高槻ミューズキャンパス・堺キャンパスは、各キャンパス事務室
月～金曜日 9時～16時まで

KUカレンダー 2010.12/16-2011.1/15

日程	イベント・行事名	主対象	問い合わせ先
12月16日(木)	寄附講座「渋沢栄一記念財団(日中関係と東アジア)」(毎週木曜日開催) 社会安全学部・大学院社会安全研究科 第1回東京シンポジウム (於・東京センター) 第5回 関関連携による技術セミナー (於・東京センター)	学生・教職員・一般 学生・教職員・一般 学生・教職員・一般	G-COE 拠点事務室 社会安全学部東京シンポジウム事務局 社会連携部産学官連携センター
17日(金)	西堀利客員教授講演会 大武健一郎客員教授講演会 会田弘継客員教授講演会 辻原登客員教授講演会	学生・教職員・一般 学生・教職員・一般 学生・教職員・一般 学生・教職員・一般	会計専門職大学院 経商オフィス 外国語学部
18日(土)	関西大学連続セミナー「ものづくり基礎技術」in MOBIO 関西大学サタデーカレッジ 法学研究所第90回特別研究会・第12回マイノリティ・セミナー 学生支援GP FDフォーラム	学生・教職員・一般 学生・教職員・一般 学生・教職員・一般 学生・教職員・一般	法文オフィス 近畿大阪 中小企業応援センター 社会連携部 研究所事務室 学生生活支援グループ
20日(月)	社会学部学術講演会	学生・教職員・一般	経商社オフィス(社)
21日(火)	法学部学術講演会	学生・教職員・一般	法文オフィス
22日(水)	寺崎昌男客員教授講演会	学生・教職員・一般	教育開発支援センター
26日(日)	地域交流ワークショップ「丹波の冬を知る一年末佐治スタジオ大交流会」	学生・教職員・一般	関西大学TAFS 佐治&千里山スタジオ
1月6日(木)	寄附講座「渋沢栄一記念財団(日中関係と東アジア)」(毎週木曜日開催)	学生・教職員・一般	G-COE 拠点事務室
12日(水)	山名年浩教授退職記念最終講義	学生・教職員・一般	総合情報学部
13日(木)	浅田正雄教授最終講義 寄附講座「渋沢栄一記念財団(日中関係と東アジア)」(毎週木曜日開催)	学生・教職員・一般 学生・教職員・一般	経商社オフィス(社) G-COE 拠点事務室

イベント・行事については、予告なく変更される場合があります。また、今後追加・中止となるイベント・行事もあります。詳細・最新情報については、本学ウェブサイトならびに問い合わせ先のウェブサイトなどで必ず確認してください。

エクステンション・リードセンターでは、多彩な講座を開講し、各種資格・国家試験の合格をサポートしています。
平成23年度開講講座の申込受付は、1月7日(金)より開始します！

※各講座・コースの詳細は、「講座案内2011」(パンフレット)をご覧ください。

▶1月7日(金) 10:30～ 受付開始

講座・コース名		開講期間	
英語講座	TOEIC®テスト対策コース	前期 650点目標クラス	5月16日(月)～8月9日(火)
		ビギナークラス (高槻ミュージズキャンパス開講)	5月23日(月)～7月11日(月)
司法講座	法律科目基礎講座	Aコース(憲・民・刑)	5月9日(月)～平成24年2月27日(月)
		Aコース答練	6月29日(水)～平成24年3月19日(月)
		Bコース(商・商訴・行政)	5月10日(火)～12月2日(金)
		Bコース答練	6月25日(土)～12月10日(土)
	法科大学院入試対策講座	実践答案練習コース 第1ターン	5月9日(月)～8月8日(月)
		適性試験クイックチャージコース	4月5日(火)～5月6日(金)
司法書士講座		4月22日(金)～平成24年4月20日(金)	
弁理士講座		5月9日(月)～12月19日(月)	
会計講座群	簿記検定講座	3級対策コース1組	4月18日(月)～6月11日(土)
マスコミ試験対策講座		5月20日(金)～平成24年2月17日(金)	
宅地建物取引主任者講座		フルコース	4月12日(火)～10月4日(火)
総合旅行業務取扱管理者講座		国内・総合コース	5月16日(月)～10月3日(月)
		総合コース(国内科目免除者)	6月13日(月)～8月8日(月)
			9月12日(月)～10月31日(月)
通関士講座		4月19日(火)～9月27日(火)	
ファイナンシャル・プランナー講座(AFP+2級FP技能士)		6月28日(火)～12月20日(火)	
色彩検定講座		1・2・3級対策コース	4月22日(金)～12月9日(金)
行政書士講座		4月18日(月)～10月27日(木)	

▶4月13日(水) 10:30～ 受付開始

講座・コース名		開講期間	
英語講座	TOEIC®テスト対策コース	ビギナークラス (千里山キャンパス開講)	前期1組 5月16日(月)～6月27日(月) 前期2組 5月16日(月)～6月28日(火)
会計講座群	簿記検定講座	2級対策コース1組	6月23日(木)～11月19日(土)

【受講申込受付】

キャンパス	受付場所	取扱時間
千里山	エクステンション・リードセンター事務室	10時30分～21時* (日・祝日および本学休業日を除く)
高槻ミュージズ	エクステンション・リードセンター高槻ミュージズキャンパス分室	10時～16時 (土・日・祝日および本学休業日を除く)
高槻	キャリアセンター高槻キャンパス分室 (総合情報学部生に限る)	10時～16時 (土・日・祝日および本学休業日を除く)

★1月15日(土)、1月20日(木)～1月31日(月)の取扱時間は18時までとなります。

平成23年度前期開講講座の概要

公務員講座について

平成24年度から実施される国家公務員試験の試験種目・試験方法が変更される予定です。これに伴い、当センターの公務員講座につきましても、変更後の試験内容を講座カリキュラムに反映したもので実施する予定にしております。

つきましては、新たな試験制度の詳細が判明しましたら、別途公務員講座の講座カリキュラムを編成し、別冊子で配布します。配布時期等については、関西大学インフォメーションシステムの「お知らせ」およびエクステンション・リードセンターのウェブサイト(<http://www.kansai-u.ac.jp/extension/>)を通じて周知いたします。

エクステンション・リードセンター職員からのメッセージ

みなさんは関西大学を卒業する時にどんな自分になっていたいですか。具体的に思い描いている方もいれば、漠然と考えている方もいるかと思いますが、エクステンション・リードセンターでは、皆さんのキャリア形成を目的とした各種資格取得、難関国家試験に向けた講座を開講しています。また公務員試験対策や、マスコミ試験対策、SPI試験対策など皆さんの就職活動の手助けとなる講座も開講しています。

当センターの講座は、千里山キャンパス第3(社会学部)学舎で行われており、英語講座(TOEIC®テスト対策コース)は高槻ミュージズキャンパスでも開講しています。ほとんどの講座が18時以降に授業が始まるため、授業との両立も可能です。また、一般の資格専門学校に比べ安価な受講料となっています。

当センター事務室では、職員がいつでも皆さんの質問や相談に対応しています。少しでも興味がありましたら気軽に事務室までお越しください。



エクステンション・リードセンター事務室
吉川 由里子さん

エクステンション・リードセンター受講生からのメッセージ

自分のペースでコツコツと

①公務員をめざそうと思った動機

親や兄弟が公務員で、その影響で大学入学前から漠然と公務員をめざそうと考えていました。そこで、大学3年次生の時にエクステンション・リードセンターの公務員講座ガイダンスに参加することで、公務員の幅広い仕事内容に魅力を感じ、本格的にめざすことにしました。

②リードセンターを受講してよかった点

リードセンターの講座は、正課の講義や定期試験と日程が重なっておらず、大学の勉強と試験対策の両立をすることができました。

また、リードセンターのテキストや問題集はとても充実していました。この点も勉強するにあたり、他の参考書などにあまり手を広げる必要がなかったのが、よかったと思います。

③公務員をめざす人たちへのアドバイス

公務員試験の勉強を進めていく上で一番大切なことは、自分にあった勉強方法を見つけ、それを地道に取り組んでいくこと



平成22年度
国家公務員II種試験
大阪地方検察庁 内定
平 知美さん
(政策創造学部4年次生)

だと思います。先輩や周りの人からいろいろな話を聞くと思いますが、それらは参考程度にして、あとは自分の方法を見つけ出すことが、合格への近道だと思います。

また、部活動やサークル活動などと試験勉強を両立することは十分に可能だと思います。私自身、体育会に所属しており、周りの受講生が1日10時間以上勉強している中で、1日平均3～4時間するのがやっとでした。そのため、1次試験の結果が出るまでは不安でいっぱいでしたが、限られた時間でも、自分なりの勉強方法を地道に実践することで、合格することができました。

勉強中は、常に不安でいっぱいになると思いますが、最後まで地道に努力すれば、結果はおのずとついてくると思います。みなさんも、あきらめずに頑張ってください。

関大の 2010年 重大ニュース

2010年、関大ではさまざまな出来事がありました。今年最後の学生広報スタッフ企画では、2010年に起こった関大に関する出来事で、関大生は何に関心が高かったのか、インフォメーションシステムを利用してアンケート調査を実施しました。339票（複数回答）のアンケート結果から、2010年の出来事を振り返ってみましょう。

順位	項目	票数
1位	厳しい就職活動状況	46
2位	高橋大輔さん、織田信成さんの活躍 (バンクーバー五輪など)	39
3位	関大前通りの店舗が続々閉店	34
4位	コブクロが統一学園祭でライブを実施	27
5位	新キャンパスの開設 (高槻ミューズキャンパス・堺キャンパス)	22
6位	お笑い芸人のたむらけんじさんが本学聴講生になる	20
	関大生の不祥事	20
8位	新学部の設置 (人間健康学部・社会安全学部)	17
	織田信成さんが結婚	17
10位	関大OBのお笑い芸人の活躍	15
11位	応援団リーダー部で留学生が活躍	13
12位	第1学舎付近で人を襲うカラスが出没	11
13位	大学生の薬物乱用問題	10
14位	関西大学初等部 (小学校) の設置	9
15位	アメリカンフットボール部がライスボウル準優勝	7
	キャンパス内の施設・設備の充実	7
17位	テニス部が関西初制覇	4
18位	不二家食堂×KUBICコラボ企画の 学食メニュー発売	3
	サッカー部員がJリーグのチームに入団内定	3
	エリアワンセグの学内実験	3
	野球部の活躍	3
22位	月桂冠との共同企画ミネラルウォーター 「自然の秀麗」発売	2
	ハイチ地震遺児学生を受入れ	2
	アイススケート部の活躍	2
25位	天神橋筋商店街に地域研究・社会連携拠点を開設	1
	外国大学との協定校数増加	1
	ガバナンス研究科の開設決定 (2011年度開設予定)	1

まとめ

今回のアンケート結果では、新キャンパス開設と新学部設置、キャンパス内の施設・設備の充実、関大前通りの店舗や就職活動についてなど、学生生活と直接関係のある項目や関大生にとって身近な事柄が上位に多数ランクインした。

また、27ある項目のうち7項目がスポーツに関連するものだった。高橋大輔さんや織田信成さんの活躍をはじめ、体育会および選手に対する注目度の高さがうかがえる。今勢いのある関大スポーツには、これからも目が離せない。

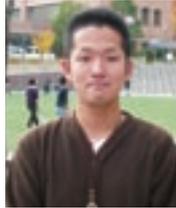
2011年は、関大でどのような出来事が起こるのだろうか？今からとても楽しみである。

1位 厳しい就職活動状況

ここ数年来就職氷河期といわれているが、やはり関大生の関心度も高いようで「厳しい就職活動状況」が1位にランクインした。では、実際はどうだったのだろうか。今年の春、就職活動を終えた政策創造学部の山縣さんに体験談を聞いてみた。

山縣さんは「実際、メディアで騒がれているほどの厳しさは感じませんでした。それは関西大学の知名度の高さのおかげでもあったと思います」と振り返る。しかし、最終的には人物重視といわれている。面接などで得た情報で判断されるので、自分自身のことや企業に入りたい理由を分かりやすく相手に伝える必要はない。

これから就職活動を始める人に対して「まず、ありのままの自分であることが大切です。周りの友達が内定をもらっても焦るのは禁物。軸と柔軟性」つまり、自分のやりたいことやなりた姿(=軸)を持つだけでなく、自分の置かれた状況に臨機応変に対応すること(=柔軟性)が自分自身の成長につながると思います」とアドバイスをしてくれた。



政策創造学部4年次生
内定先:教育業界
山縣 昂亮さん

2位 高橋大輔さん、織田信成さんの活躍

2010年で関大生が一番盛り上がった出来事といえば、やはりバンクーバー五輪ではないだろうか。五輪で大活躍をした高橋大輔さん(文学研究科M2)と織田信成さん(文学部4年次生)取材し続けている関大スポーツ編集局の藤原さんに、彼らの印象を聞いてみた。

「高橋さんは素直に自分の言葉で話す方です。織田さんは子供が好きで、明るく誰にでも好かれるキャラクター」。また、高橋さんと織田さん2人に共通することとして「取材の際には、2人とも同じ学生目線で丁寧に対応してくれます。本当に世界で活躍している選手なのかと思うくらい謙虚で紳士的。そんな人柄が、彼らの活躍や人気につながっているのではないのでしょうか。彼ら取材してきて、私自身関大生であることを誇りに思います」と答えてくれた。関大スポーツを牽引する彼らの挑戦をこれからも応援したい。



体育会本部関大スポーツ編集局
社会学部3年次生
藤原 志織さん

3位 関大前通りの店舗が続々閉店

今年、店舗の撤退や入れ替わりが相次いだ関大前通り。関大前商店会会長の福井さんは「このような現象は、今年に始まったことではない。今までも関大前通りでは、採算が合わず撤退していく商店がほとんどだった」と話す。その背景には、出店者に大きな誤算があるという。大学前通りは集客力があると安易に考えて、市場調査もせずに出店する店舗が多いからだ。しかし、その集客力となりうる学生は、授業が終わればアルバイトやクラブ・サークルに直行するケースが多く、関大生にとって関大前通りはただの通過ポイントにしかなくなっているのではないかと福井さんは分析する。さらに、「そもそも関大前通りは大手チェーン店による価格の過当競争がある激戦地区のうえに、貯金の少ない学生を相手に商売をするのは非常に難しい」と指摘。

今後、関大前通りを活性化していくためには、学生の視点からの新しいアイデアを取り入れることが必要なのかもしれない。



関大前商店会 会長
古書店「文響」
福井 庄司さん